

平成30年度 とちプラザ運営審議会 議事要旨

- 1 日 時 平成31年2月27日(水) 14:00~15:00
- 2 会 場 とちプラザ 1階 大集会室
- 3 出席委員 天内 道子、伊藤 公康、田中 恵子、榎波 修、池田 知佳士、塩野 順子、鈴木 義尚、増子 和則、木川 博史、金澤 宗一郎、宮本 まゆみ、目黒 久美子、外崎 玲子、角田 公美子、下坪 文香
- (以上15名 敬称略)

- 4 事務局 生涯学習部長 草森 紳治  
生涯学習部企画調整監 森川 芳浩  
生涯学習課長 中小原 治子  
生涯学習課係長 島田 猛  
生涯学習課主任補 米林 史哲
- (以上5名)

- 5 オブザーバー(指定管理者)
- とちプラザ館長 黒川 明彦  
とちプラザ副館長 多田 倫和
- (以上2名)

- 6 会議次第
- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 議事
- ア 指定管理者の主な取組み実績
- イ 平成30年度事業経過報告
- ウ 今後の施設運営に係る取組み
- エ その他
- (4) 閉会

- 7 議事要旨
- (1) 指定管理者の主な取組み実績について
- 事務局より、平成29年度から平成30年度中の指定管理者の主な取組み実績として、「自主事業」、「職員研修」、「利用者からの要望等」、「修繕関係」、「指定管理業務」について説明。

【質問・意見等】

○委員

自主事業について、資料内での「プラザわくわく教室」や「プラザこども教室」が平成30年度の実施回数が前年度より少ないが、これは年度途中だから少ないということか。

●事務局（生涯学習課 米林主任補）

お見込みのとおり。

資料の実施回数は、平成30年度は12月現在につき前年より少ない数字となっている。

(2) 平成30年度事業経過報告について

事務局より、平成30年度の事業報告として、「とかちプラザ利用状況」、「胆振東部地震に伴う停電時の一時避難所開設」、「冷暖房用空調機の修繕」、「ラウンジ運営事業者の公募」、「自主財源の確保」、「寄附受納」、「スクワティ・ポティの設置」について説明。

【質問・意見等】

○委員

ラウンジ関係の意見①

とかちプラザは高齢者の利用も多いことから、うどんやスープなどの温かいメニューがある高齢者でも入りやすい店が良い。

●事務局

とかちプラザラウンジ運営事業者の募集要項には、「子どもから高齢者までの幅広い世代を対象とした飲食の提供を基本」と記載しており、高齢者でも利用しやすいメニューや環境は必要であると考えている。

貴重な意見として、次期ラウンジ運営事業者選定時の参考とさせていただきます。

○委員

ラウンジ関係の意見②

営業時間の設定について、ランチとディナーの間の中休みは設けないでほしい。

●事務局

営業時間の設定は申請団体の提案にもよるが、貴重な意見として、次期ラウンジ運営事業者選定時の参考とさせていただきます。

○委員

ラウンジ関係の意見③

以前、ラウンジで温かいメニューが品切れなのか無いと言われたことがある。

ラウンジは温かいメニューをいつも揃えてほしい。

●事務局

貴重な意見として、次期ラウンジ運営事業者選定時の参考とさせていただきます。

○委員

自主財源の確保について、とかちプラザ北側ガラス面の広告を平成30年度から止めているが、その影響額はどの程度か？

●事務局

屋外広告は平成29年度まで実施しており、年間約130万円の広告収入を得ていた。

止めた背景には立地環境や周囲の建物との調和といった面で、様々な方面からご意見があり、検討を重ねた結果、平成30年以降は募集を休止しているもの。

今後も新たな自主財源確保の検討を進めて参りたい。

(3) 今後の施設運営に係る取組

事務局より、「暖房用ボイラーの更新関係」、「駐車場ゲートシステムの故障」、「その他の修繕関係」、「自主財源の確保」、「次期指定管理者の選定」について説明。

【質問・意見等】

※質問、意見なし。

(4) その他

【質問・意見等】

○委員

とかちプラザのトイレについて、洋式化を進める一方で、洋式便座に直接座ることに抵抗があるという声があるため、除菌スプレーの設置を検討していただきたい。

●事務局

トイレの洋式化については、他施設も含め全庁的に取組んでいるところである。

除菌スプレー設置については、とかちプラザのほか、市公共施設全体の整合性を見ながら判断していきたい。

○委員

調理室について、床にこぼれたものを拭く雑巾や、中くらいのサイズのざるが無く不便と感じる。

●事務局

貴重な意見として、対応を検討して参りたい。

○委員

1階正面出入口横に喫煙場所があるが、出入りする際の受動喫煙が気になる。

市内の小中学校の様に全面禁煙としたり、また分煙を行うなど、何か対応を検討していただきたい。

●事務局

健康増進法の一部を改正する法律が施行され、受動喫煙防止に向け、現在施設毎の実態を検証し、全庁的に対応を検討中である。

受動喫煙を改善していく上では、喫煙される方の権利もあるため、慎重に対応して参りたい。

全庁的な方向性が決まった際には、市民へ早めに周知する方向であり、ご理解いただきたい。

○委員

子どものオムツ替えは、女性だけでなく男性も行うものであるため、男性用トイレにも何か配慮があった方がいいと思う。性別に関係なく利用できる多目的トイレは重要視されているが、その増設が難しいのであれば、男性用トイレ内にもオムツ替え台の設置や個室を増やすなどの工夫をして欲しい。

●事務局

とかちプラザでは現在、多目的トイレ内にオムツ替え台を設置している。

男性用トイレ内のオムツ替え台増設等の必要性については、検討して参りたい。

○委員

昨年9月の停電対応時、とまちプラザを避難場所として開設した際、避難者はどこで寝泊まりしたのか。

●事務局

一時休憩所として、とまちプラザでは1階部分を開放した。

日中はアトリウムにテーブルや椅子を設置し、避難者の方々にご利用していただいた。

夜間帯は大集会室とギャラリーにアルミマットを敷いた上で毛布をお配りし、就寝場所として、ご利用していただいた。

宿泊者については、9月6日と9月7日の2日間で計250名となった。

以上